



『あい♡』からはじまる『元気な地域』をみんなの力で。

助けあい♡ 学びあい♡ 育てあい♡

J A全国女性組織協議会3カ年計画スローガン

より良いJAを目指し、 女性目線で思い伝えよう

女性部役員とJA役職員が対話集会

JA役職員との対話集会を2月19日、パシオンで開きました。女性部からは役員12人、JAからは東組合長をはじめ部長ら15人の参加がありました。

支部長、助け合いの会、出荷協議会、フレッシュミズ、OB会代表が会員から預かった要望や質問などを投げ掛け、一つひとつに回答をいただきました。福祉事業、営農指導、職員教育、施設整備など、女性視点の想いを伝えました。

東哲哉組合長は「JAにとって女性の思いや支えは大きい。いただいた意見を大切にして、改善できるところは至急対応し、より良い農協にしていきたい」と言葉をいただき、堤幸子部長は「女性の意見を受け止めて対話できる場があることに感謝。協同組合の組織力で、食や農の大切さを次世代につないでいきたい」と話しました。



女性部は対話集会を毎年開き、粘り強く、JA運営に歩み寄り、助け合い活動や農産物市場の設置、デイサービスセンターや斎場建設などを実現してきました。3月には支部ごとに報告会を行い、4月25日には女性部総代会をパシオンで開きます。会員の皆様の想いをいろいろな場で伝え、より良い女性組織にしていきたいと思います。「いぶき」でも女性理事インタビューも始まりました。会員皆様一人ひとりが主役です。皆が輝くために共にJA女性部を盛り上げてまいりましょう。

—JA菊池女性部—



笑顔に会えてよかった

助け合いの会 ふれあい訪問活動

JA菊池助け合いの会では、一人暮らしのお年寄りを訪ねお声掛けする「ふれあい訪問活動」を毎年行っています。中央支所ごとに工夫して、まごころ込めた「地産地消弁当」やエコーブマーク品、ジュシーなどをお届けしています。訪問先では「笑顔に会えてよかった」と喜んでいただいています。助け合いの会会員の減少が気になるところですが「出来ることを 出来るときに 出来る人が」を合言葉にこれからも続けます。

まんまに
きてはいよ〜

農産物市場出荷協議会

菊池店では
3月8日、
エコーブマーク品の
「米こうじの甘酒」と
その甘酒を使った
コールスローのサラダの
試食会を行いました！

次のイベントも
お楽しみに〜♪



農産物市場「きくちのまんま」では、店舗ごとに試食会などのミニイベントを開催しています。店舗によって日程が異なりますので、HPや店舗でのお知らせをご覧ください。



直売所情報はここから

〔誕生祭〕
菊池店 6月
菊陽店 9月
合志店 11月

皆さん集まって 協同活動をしましょう

協同組合とは 地域コミュニティそのもの

農業大学校卒業後、家業の酪農を継ぎました。30代から母と交代し、女性部に加入しました。地元の中陣内地区では、現在13人のメンバーで温泉に行ったり、ゴミブリ団子を作ったりと楽しく活動しています。最近では、こ

近所付き合いが希薄になる地域が多いですが、農業をされている方も加入いただき、地域の方々が集まって会話をしたり、情報交換ができる場となっています。なんでもない活動ですが、大事なことは顔を合わせて話をするのだと思います。協同組合の活動は、地域コミュニティそのものです。地域住民を孤独にせず、助け合って生きていくことが、大切だと考えています。年寄りだけでなく、辞めようかなと言われる先輩方もいらしますが、まだ

焼きいもは
寒い時期
限定です！



とれたて市場には大津特産品の
サツマイモがたくさん並んでいます

と、待っている組合員さんがいて本当に嬉しかったですね。JAで働いてみて、たくさんの学びがありました。その中で一番の学びは、「感謝の気持ち」です。頭を下げて「ありがとう」。これがどれだけ大切かがわかりました。現在は、ネットワーク大津(株)の構成員として、母と一緒に土地利用型農業の管理作業をしながら、とれたて市場で働いています。母は83歳ですが、まだまだ元気でいてくれて本当にありがたいです。お客さんとお話するのが楽しいです。職員がよく相談してくれるのも嬉しいですね。たくさんの人と関わるのができ、やっぱり私は人が好きなんだと思います。

まだお若いので可能な限り活動に参加してもらいたいと思っています。これからも「ぼちぼちできるしこ」でみんなが楽しいと思える活動を続けていきたいです。

やっぱり私は人が好き！



にし いくみ
理事(区域全域) 西 郁美 ⑥2

趣味

孫5人と休日に遊ぶこと。とってもにぎやかで楽しいですよ。

プロフィール

大津町で飼料用米、麦、大豆を栽培する。2020年 理事(区域全域)に就任し、現在2期目。